

・ 龍泉洞見学：日本三大鍾乳洞の一つと言われ、洞内に住む蝙蝠を含めて天然記念物に認定されています。平均気温が10度前後、湿度は99%を指していた。気温的には寒いですが、洞内を歩くことで汗が出るくらいになった。

洞内は5000m程の長さがあるが、公開されているのは700m程度。いくつかの地底湖があるが、その中でも水深120mもあり、透明度の高いドラゴンブルーと呼ばれる湖はとても神秘的であった。

・ ふれあいランド岩泉：2014年にオープンしオートキャンプ場、コテージなどキャンプを楽しめる施設で、その中でインパクトのあるブルートレインの車両を使用した宿泊施設を利用した。町村合併60周年を記念して、未来を育てる育樹祭としてツリークライミングやまねこが主催で開催している、ツリークライミングを体験でき、自然の中で、草木などを好きになって頂けるような体験会となっていた。ツリークライミングやまねこのスタッフ

や、岩泉町の役場の方々と我々で、懇親会として野外で食事会を行った。今回のツアーの中で、一番の大雨(100mm/h)に見舞われたが、それをきっかけに、より親睦が深まった。

2日目は早坂高原へ出向き、町村合併60周年および第16回森の日事業「未来を育てる育樹祭」「カタクリ再生大作戦」に参加。長くつを履き、軍手をして、初めて使う草刈りがまを両手に持ち約1時間の雑草の草刈りを行った。慣れない作業に戸惑い、手間取っていましたが、地元の方や、以前体験された方々にコツなどを教えて頂き、最後は慣れた手つきで草刈りができていたと思う。しかし、広大すぎる森の一部を数百人の方々で行うのはごく一部しか出来ないが、その少しずつが大切なんだというのも体験でき収穫になったと思う。

・宮古市田老地区を見学した。早坂高原より海方向へ1.5時間ほど行った震災のあった地区となる。有名な「たろう観光ホテル」の目の

前までバスで移動し、見学した。津波の驚異的な破壊力を目の当たりにし言葉を失った。港にある3階建ての建物（監視塔？）の屋根の下まで津波が来たときの黄色し印があった。以前10mの防波堤はあったが、それを上回る津波により大破し、その改修工事を行っていた。

・16回目を迎えた森の日事業ですが、引き続き昭島市役所では参加していく方向であるようですので、カーボンオフセット活動だけでなく、自然の雄大さや大切さ、地域との関係をより深める意味でも進めていくべき活動に思えた。このようなイベントへの参加は、1歩踏み出せないところもあるが、参加されている方々の意欲的な活動・行動に牽引され、楽しく、そして、有意義な時間をすごすことが出来ました。また参加したいと感じます。

